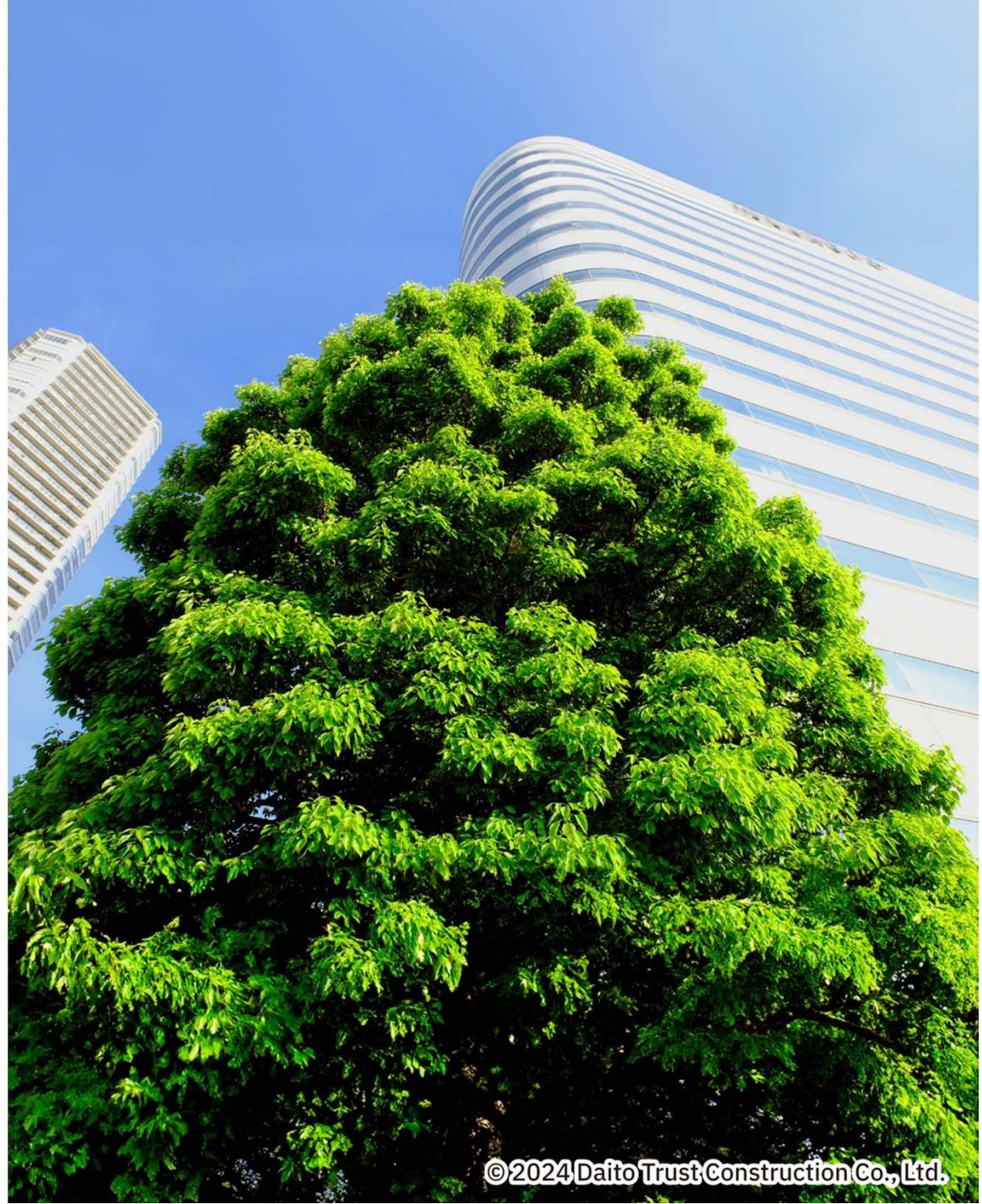




大東建託グループ 中期経営計画

FY2024-2026



**創業50年を機に、
次の100年へ向けて、当社の存在意義、パーパスを策定**

大東建託グループパーパス

託すをつなぎ、未来をひらく。



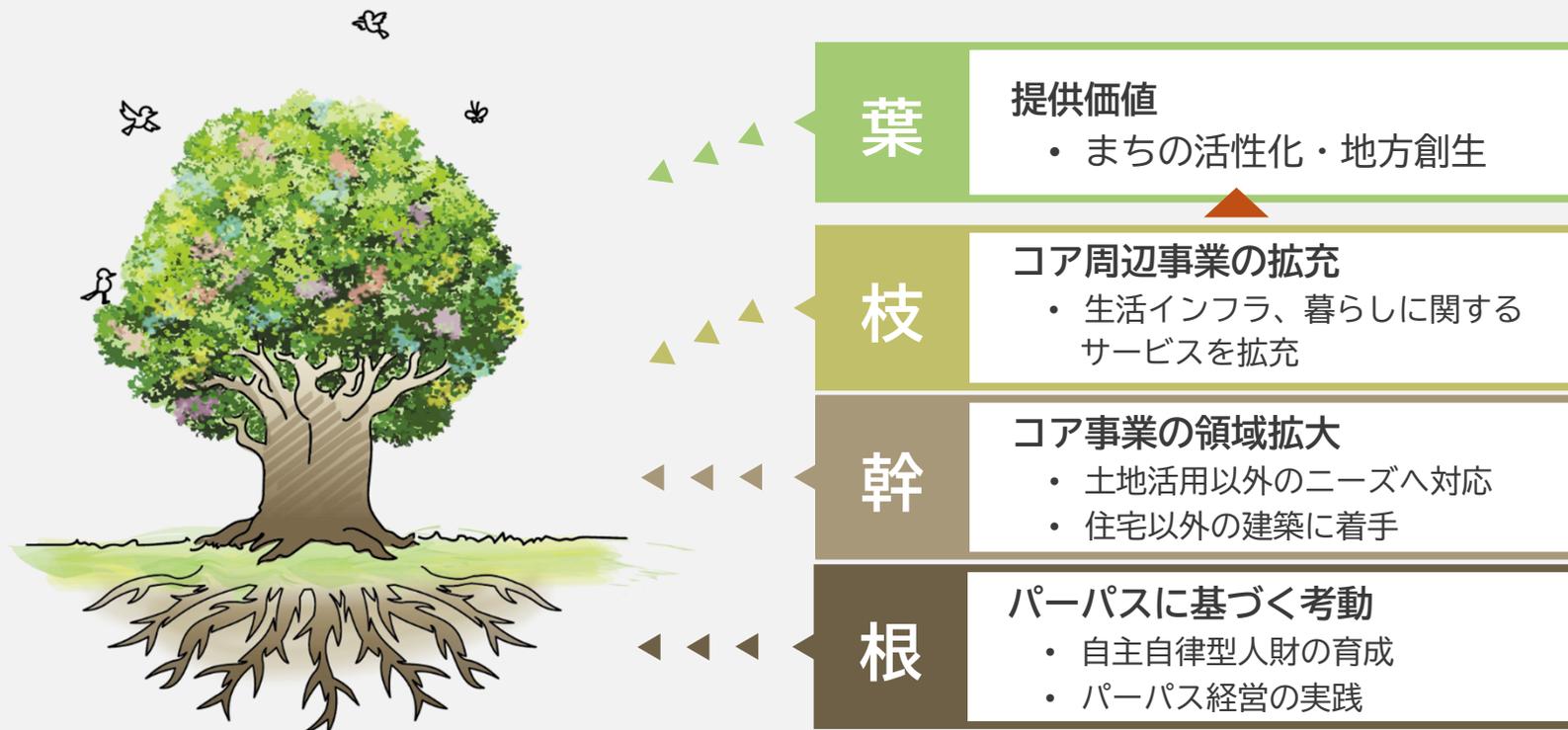
パーパス「託すをつなぎ、未来をひらく。」

100年企業への第1歩としてパーパスをもとに、
2030年のありたい姿「VISION 2030」を定義



3. 2030年のありたい姿「VISION2030」

- ▶▶▶ パーパスに基づく考動を基盤とし、社員の力を最大化、コア事業の領域を拡大
- ▶▶▶ コア事業の領域拡大に伴い、生活、暮らしサービスなどのコア周辺事業を拡充
- ▶▶▶ コア事業と周辺事業を有機的につなぎ、高齢化や過疎化、災害への不安などの課題を抱える地域へ、安心して豊かに暮らせる環境を提供（まちの活性化・地方創生）



2024年度～2026年度

**グループ一丸
新たな挑戦**

2027年度～2029年度

**グループ一丸
実現への総仕上げ**

**DAITO
Group
VISION
2030**

2024

2025

2026

2027

2030

01

人的資本経営の推進

02

強固なコア事業の確立

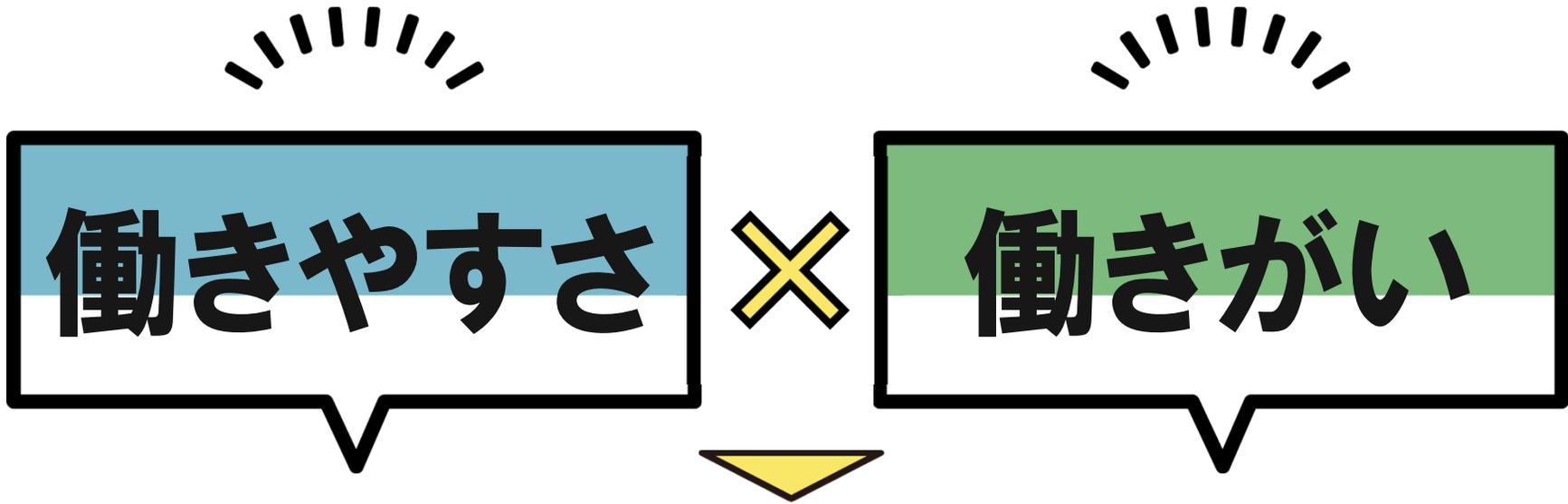
03

本中計における注力分野への対応



01

人的資本経営の推進



社員の力の最大化





人的資本経営の推進

1 従業員へ譲渡制限付株式の付与

2 SDGsの推進・社会課題の解決

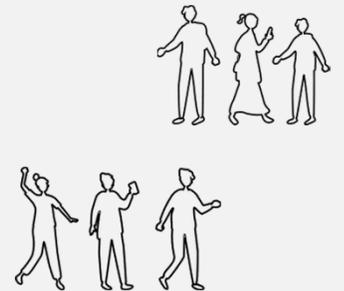
3 誰もが活躍できる環境の整備



働きがい

従業員へ株式報酬を付与

対象者	グループ従業員16000名
付与株数(総数)	38万株
付与総額(最大)	68億円
付与日	2024年9月
譲渡制限解除	中計期間終了後



会社の成長 = 社員の成長・株主との価値共有

働きがい

環境問題や社会課題の解決にむけた取り組み

全商品のZEH化



バイオマス発電



災害時の連携



事業を通じてサステナブルな社会を実現

4-(1)-3. 誰もが活躍できる環境の整備

働きやすい職場づくりでエンゲージメント向上



54.8
(BB)



59.2
(A)



リスキリング

働きやすさ

多様な人材がいきいきと働く職場の実現

働きやすさ

外部評価を獲得し、社員のモチベーション向上



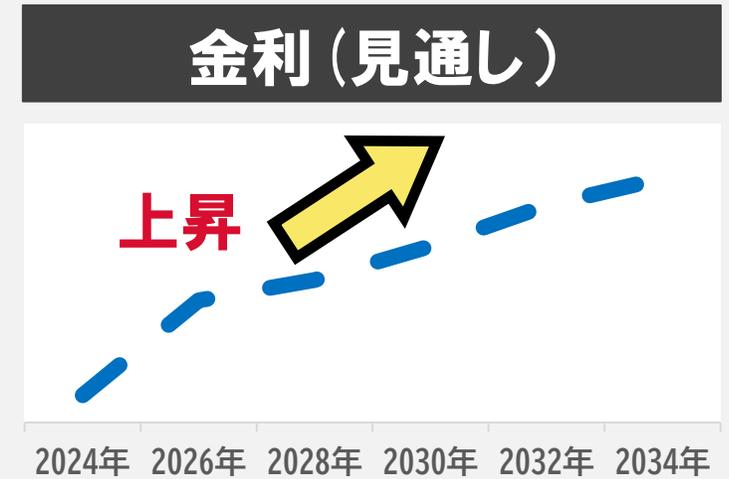
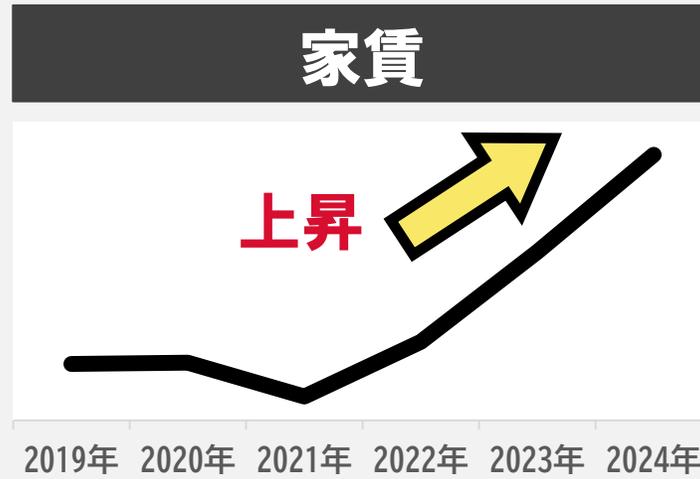
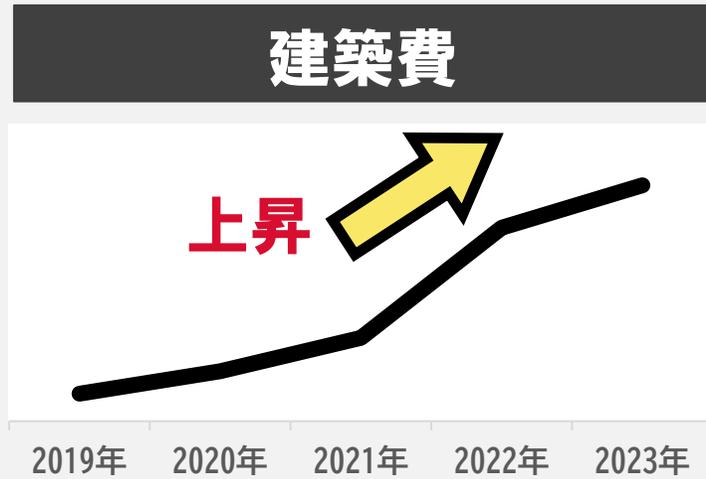


強固なコア事業の確立

- 1 大きな社会変化への対応
- 2 建築施工量の維持拡大
- 3 ストックからフローの好循環



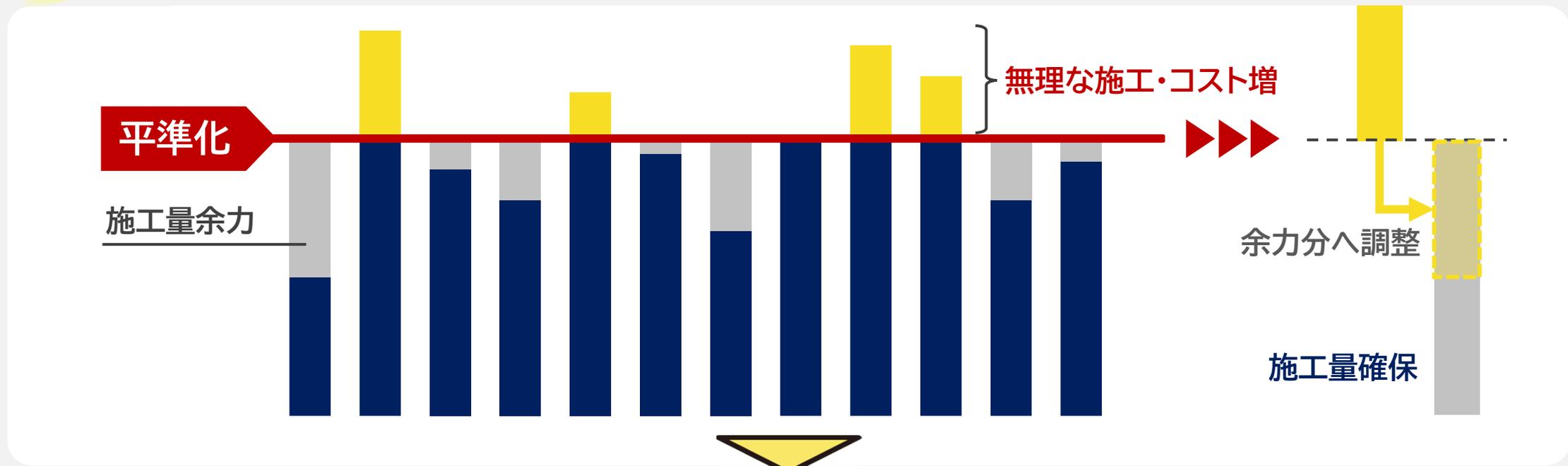
建築費、金利、家賃は上昇局面



インフレに伴う価格改定（建築費・家賃）

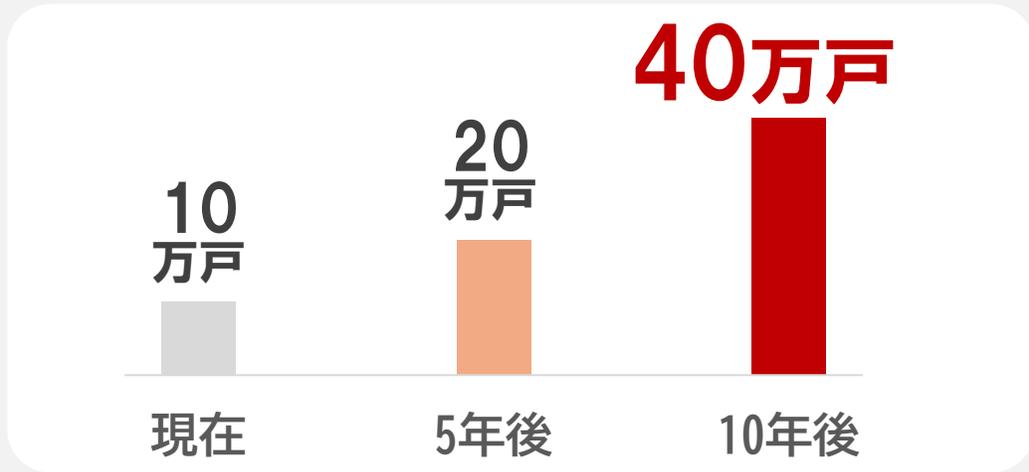
賃貸事業の利回り、当社収益を確保

技術者の不足に対して施工量平準化に取り組む



- 建築コスト上昇を抑制
- 受注増加に対応した施工量を確保

築25年超物件は今後急速に増加



豊富なストックを背景に建て替え提案

当社内でのエコシステムを確立



本中計における注力分野への対応

- 1 不動産開発事業の拡大
- 2 海外事業への着手
- 3 当社グループらしいまちづくり



ビルドセット事業・リノベ再販事業に投資



不動産投資額 1,000億円

(大型案件は土地取得時に売買契約締結)

コア事業の領域拡大、売買 & 管理収益獲得

北米での買取りリノベ再販事業からスタート



管理戸数: 150 万戸
(海外 5 万戸)

STEP1
2024~2026

STEP2
2027~2029

STEP3
2029~

大東建託グループらしいまちづくり (=DKミライサークル) を展開

当社主導：まちの課題把握

地域・自治体との連携

課題解決施設を設置

例)超高齢化 → 介護・高齢者施設建築

人・まち・サービスつなぎ合わせ

安心・豊かなくらしのまち・地域へ



当社らしいまちづくりの実践。まちの活性化へ。

**2026年度
目標** **売上 2兆円 / 営業利益 1,400億円 / ROE 20%**

		本中期経営計画(2024~2026年度) 方針
財務状況	自己資本比率	35%以上を維持
	D/Eレシオ	0.3以下を維持
	長期借入金	必要に応じて調達
投資	設備投資	3年で600億円以上 (内、IT・DX300億円以上)
	事業投資	3年で1,000億円以上
株主還元	配当性向	50%
	自己株取得	機動的に実施 (単年度ごとに判断)

6. 非財務目標

マテリアリティKPIから、中期経営計画の重要KPIを抽出。

KPI	選定理由	2023 年度 (実績)	2026 年度 (目標)	2030 年度 (目標)
① 従業員エンゲージメントスコア	社員の「働きやすさ」×「働きがい」の総合指標	59.2 (A)	60.7 (A)	62.0 (AA)
② 女性管理職割合	「働きやすさ」の重要指標	6.5%	8.0%	10.0%
③ 自治体とのプロジェクト提携数	VISION2030の推進指標	—	10拠点	30拠点
④ 温室効果ガス排出量の削減率 Scope1+2、3	環境対応(ZEH供給・バイオマス発電)の重要指標	(7月集計)	41%	55%
⑤ 女性取締役比率	取締役会メンバーのダイバーシティ指標	8.3%	20%	30%